令和元年11月26日 発行

地域の子は地域ですこやかに育てよう

青少年つるが

第46号

青少年健全育成敦賀市民会議
seisyounentsuruga.net

地域の中でふれあう 令和元年度 ひまわり塾 ◆後半◆

つるがをもっと知り たのしいつるがを体験しよう!

郷土の今と昔を知り 自然にふれあいながら 豊かな心情を培う

そば打ち体験
9月21日(土)

奥の細道330周年
『奥の細道』の世界を知ろう
10月19日(土)

令和元年度 青少年からのメッセージ 青少年へのメッセージ 募集します!!

青少年健全育成敦賀市民会議では、青少年に関する作文と図画・ポスターを募集します。

応募資格
市内にお住まい、または、通勤、通学されている小学生以上の方

応募作品
各部門とも1人1点で未発表のもの

応募期間
令和元年12月3日(火)
～
令和2年1月15日(水)

作文

【内容】
- 家庭・学校・地域などで日頃考えていることや言いたいこと
- 自分の将来の夢や希望
- 私の訴えたいこと
- 子どものことについて考えていること
- 職場や団体での青少年健全育成の活動体験 など

【作品規定】400字詰め原稿用紙(縦書き)で
★小学1～3年生は2枚程度
小学4～6年生は2枚以上3枚以内
★中学生・高校生は3枚以上5枚以内
★一般は枚数制限なし
＊応募票を原稿用紙1枚目の右上部に貼付してください。

図画・ポスター

【内容】
- 明るく楽しい家庭や学校生活
- 住みよい町づくり
- 子ども会・サークル活動
- 私の訴えたいこと など

【作品規定】
★小学1・2年生は八ツ切り図画
小学3～6年生は四ツ切りポスター
★中学生・高校生は四ツ切りポスター
★一般は四ツ切りポスター
＊応募票を作品の裏面右上部に貼付してください。

応募票は各学校に配布します。一般の方は少年愛護センターまでご連絡下さい。

お問い合せ申込先
青少年健全育成敦賀市民会議
事務局(少年愛護センター内)
☎23-0189

9月21日(土)
❸そば打ち体験

●去年は、そばが太くなって今年はそばを上手に切ることができてよかったです。自分で打ったそばと職人さんが打ったそばを食べ比べをしてみてどちらともおいしかったです。去年も今年も切ることがむずかしいと改めて思いました。今年は半分持ってかえって家で家族と一緒に食べて、それから、「去年より上手にできたよ」と言いたいと思いました。こねるところもむずかしかったけど協力してできてよかったです。

●わたしは去年、ひまわり塾に参加して、「昆布手すき体験」、「そば打ち体験」をしました。去年は、どっちともうまくいけませんでした。けれども今年は、去年よりもうまくいけて、うれしかったです。

　職人たちが切ったそばは、細く、とってもキレイだし、とってもおいしかったです。わたしたちが作ったそばは、太いそばも、細いそばもありました。しかし、とってもおいしくて、太くても細くても、おいしかったのでよかったし、うれしかったです。

　そばを作るコツや方法をおしえてもらい、しかもやれて、いい経験になり、とってもいい思い出になってうれしかったです。

　またらい年も参加したいと思いました。

●私は、2、3回そばうちを体験したことがあります。いつもは、水を入れてこねる所や、まぜる所は、していなかったけど、やってみたら、すごくかたくて力がいりました。いままでは、大人の人が、かるがるとやわらかそうに、こねていたので、かんたんだと思っていたけど、すごくむずかしかったです。職人の高橋さんが、やさしくおしえてくれたり、やりかたをおしえてくれたりして、楽しくそばが作れました。ありがとうございました。

●私は今日のひまわり塾でそばは、こんなにつくるのがむずかしいんだなとはじめて思いました。

　私はそばが大好きだけど、こんなにてまひまかけてつくられていることをはじめてしりました。とくにこねるところは、とてもかたくてくろうしました。めんぼうでのばすところも、ぶ厚すぎるところ、うすすぎるところがあったりして、むずかしかったです。そして、切るときは私達のグループは細かったり、太かったりして、かたくなったりしてしまったけど、先生の作ったのはどれも細く、形もほぼ同じで、細さだけで、こんなに味が変わるんだと思いました。

●そばを作るにはこんなにじかんがかかるんだなと思いました。

　そばうちははじめてじゃないので細くそばをきれました。でもときどき太くなったりしました。ぼくたちが作ったそばと先生が作ったそばを食べくらべてみました。やっぱり先生のほうがおいしかったです。でもぼくたちのそばもおいしかったです。また先生のそばをたべてみたいです。ぼくも先生みたいにそばをうまく作れるようになりたいです。

10月19日(土)
奥の細道330周年
❹『奥の細道』の世界を知ろう

●ぼくが心に残ったことは、芭しょうがいろいろな所に行った中に敦賀も行っていたことです。奥の細道は紀行文の最高けっ作として世界にも知られていることが分かりました。芭しょうは、色々な歴史のスポットにも参考に旅をしていることが分かりました。山中温泉あたりで弟子の曾良と別れていたのは知っていたけど、それから洞哉という人と敦賀までやって来たというのは初めて知りました。芭しょうは敦賀や他の場所に行って、どのような俳句を詠んだのか、どのような気持ちで詠んだのか調べてみたいです。

●今日の活動で学んだことは、ばしょうさんは5か月も旅をしたことです。あと、関東、東北、北陸を旅したということです。わたしはばしょうさんはすごいと思いました。わけは、3つの地ほうを回っても5か月じゃ回りきれないと思うからです。あと、ほとんどが乗り物に乗らないで歩きだからです。でも、よく回りきれたと思いました。わたしもばしょうさんのようにもっとがんばりたいと思いました。

●松尾芭蕉のことを学校で学んだことがありますが、今日きいた話は、ほとんど知らなかった話でした。「おくのほそ道」には深い歴史があって、すごいなと思いました。訪れた場所で、たくさんの弟子たちができたことや、芭蕉が詠んだ月の句、『おくのほそ道』素龍清書本ができるまでの話など、いろいろなことをきかせてもらうことができました。私が特に興味をもったのは、敦賀に訪れた芭蕉が8月の中秋の名月(昔、8月は、秋に分類されていた)を見られなかった話です。中秋の名月の前日に訪れた宿の主人が言ったとおりになったと楽しんでいたそうです。楽しみにしていた月を見られなかったのに、悲しまないなんて、すごいなと思いました。学んだことをいかすことができたらいいなと思いました。

●2年生のとき少し勉強した松尾芭蕉のことについて深く知ることができたと思います。松尾芭蕉が敦賀でよんだ句10句を2年生の時おぼえたけど、忘れていたので、少しでも思い出せたのでよかったです。

　旅のと中であったことも説明していただいたので分かりやすかったです。おくのほそ道を書くために何回も何回も書き直したりけずったりしたことも分かりました。努力した結果が多くの人の心を打つ作品として表れたのではないのかと感じました。

●今まで、俳句にはそんなに興味・関心はなかったのですが、今日、「おくのほそ道」のお話を聞いて、面白いなと思いました。芭蕉が、福井で10も俳句を詠んでいることは知りませんでした。江戸深川から大垣までの長い道のりを、ほとんど歩いて旅したのは、すごいと思いました。

　博物館では、芭蕉が使っていたつえや、「おくのほそ道」の本を見ることができて、感動しました。330年も昔のものが、今にまで伝わっているのは、すごいことだと思いました。

令和元年度

『ひまわり塾』をおえて

推進員部長　松山 公之

今年後半は、人気の『そば打ち体験』と『「奥の細道」の世界を知ろう』を学習しました。

体験授業の『そば打ち』では、最初に先生に教えてもらったとおりに、水を入れて自分の手で〝こねる〟から『そば』を打って〝そば切り〟までがうまくいかないみたいでしたが、子ども達みんな楽しんで『そば打ち』をしていました。出来上った『そば』は太いものや細いものといろいろでしたが、自分たちの〝そば〟は講師の打った『そば』とはまた違うおいしさでした。一所懸命に手を動かす楽しい体験で、子ども達の表情が大変良かったです。

『「奥の細道」の世界を知ろう』で、令和元年度最後の〝ひまわり塾〟となりましたが、参加者が少なく、テーマが難しいのかなと心配していました。しかし、少人数だったこともあり、講師の説明をしっかり聞きとることができ、塾生だけでなく参加者全員が、熱心に説明を聞き入っていました。また、芭蕉は敦賀と密接な関係があることも解り、新たな発見となりました。

最後に、今年度の『ひまわり塾』にご協力をいただいた講師の皆様、お手伝いいただいた皆様に塾生に代わりましてお礼を申し上げます。

『ひまわり塾』ではこれからも【人間は人間の中で育つこと】・【誰でも先生・誰もが生徒・どこでも勉強・いつでも学習】の考え方の下、楽しく敦賀を感じてもらいたいと考えています。

❶ 昆布手すき体験
7月27日(土)［西公民館］
4年生９名／5年生 14 名
6年生６名
＊塾生 29 名
＊会長・副会長・推進員 13 名

❷ 敦賀港で働く機械見学
8月23日(金)［敦賀海陸運輸 (株)・敦賀港］
4年生６名／5年生３名
6年生５名
＊塾生 14 名
＊会長・副会長・推進員 11 名

❸ そば打ち体験
9月21日(土)［西公民館］
4年生 10 名／5年生 15 名
6年生 10 名
＊塾生 35 名
＊会長・副会長・推進員 13 名

❹『奥の細道』の世界を知ろう
10月19日(土)［敦賀市立博物館］
4年生１名／5年生３名
6年生４名
＊塾生８名
＊会長・副会長・推進員 11 名

令和元年度 安全安心まちづくりのつどい

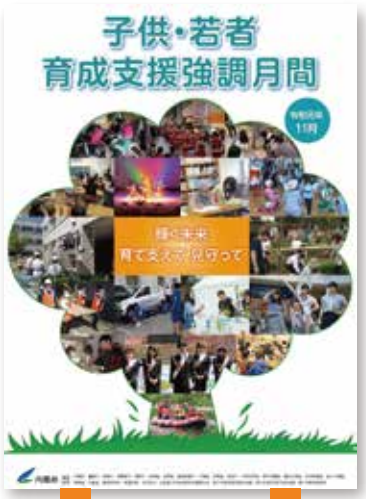
日時　令和元年10月5日（土）
場所　福井県自治会館 多目的ホール

令和元年度安全安心まちづくりのつどいが開催されました。

つどいには、各市町防犯隊関係者や自主防犯団体関係者、安全安心まちづくり推進会議関係者等約１６０名が参加しました。

福井県副知事、福井県警察本部長のあいさつに続き、福井県議会議長の来賓祝辞を賜り、続いて令和元年度地域防犯功労団体表彰があり、敦賀市からは成新小学校見守り隊が受賞されました。

式典に引き続き、北陸大学経済経営学部教授・学部長 山本啓一氏より「これからの地域防犯のあり方を考える」～子どもを地域でどう守るか～との演題で講演が行われました。



内閣府では、子供・若者育成支援に関する国民運動の一層の充実や定着を図ることを目的として、毎年 11 月を「子供・若者育成支援強調月間」と定め、関係省庁、地方公共団体及び関係団体とともに、諸事業、諸活動を集中的に実施しています。

令和元年度の重点事項

❶ 若者の社会的自立支援の促進
❷ 子供を犯罪や有害環境等から守るための取組の推進
❸ 児童虐待の予防と対応
❹ 子供の貧困対策の推進
❺ 生活習慣の見直しと家庭への支援

令和元年度 敦賀市補導員連絡協議会 敦賀市青少年育成推進員研修会

日時　令和元年11月5日（火）
場所　プラザ萬象　小ホール

令和元年度　敦賀市補導員連絡協議会・敦賀市青少年育成推進員研修会が開催されました。

講師に佛教大学副学長教育学部教授　原清治氏をお招きし、「ネット社会と子どもたちの実態」についてご講演いただきました。

最近の子どもたちの「人間関係」について、大人側から見えない、気づかないことが多いこと、生きづらさを感じている子が増えていることなど、インターネットやスマートフォンが普及してから変化している子どもたちを取り巻く現状を、時折ユーモアを交えながら具体的に分かりやすく説明していただきました。

これからは「カウンセリング型支援」から「アウトリーチ型支援」へ転換していくことが必要だとお話しされ、大人側から子どもたちに寄り添っていく支援をしていくことが必要であると痛感いたしました。

青少年健全育成福井県民大会

●テーマ
「見直そう家族の時間　見守ろう子どもの未来」
～ふるさとへの誇りと愛着をもち、自ら考える青少年の育成～

令和元年度青少年健全育成福井県民大会が11月9日（土）に大野市生涯学習センター学びの里「めいりん」で開催されました。大会には青少年育成関係者等約350人が参加し、敦賀市からも17名が参加しました。

始めに、「小山鍬踊り保存会」による「小山鍬踊り・小山農民踊り」が披露されました。続いて今年度の「少年の主張」コンクール福井県大会において、福井県知事賞受賞者による作文発表が行われました。そして、青少年育成福井県民会議が派遣するシンガポールでの研修に参加した敦賀市立気比中学校3年中村穂里さんの現地での体験報告も行われました。

式典では、杉本達治知事、県民会議の山崎幸雄会長のあいさつに続き福井県議会議長田中宏典氏より来賓祝辞を賜りました。続いて善行青少年および青少年育成功労者に知事表彰、優良青少年補導員および優良少年警察協助員に知事感謝状が贈られました。

その後、奥越前まんまるサイト 代表 坂本 均氏より「子どもの手を取って自然へ」との演題で講演が行われました。講演では、アスレチック遊具等のない雑木林でも実際に入ってみることで五感で感じて得られる体験があり、子どもたちに体験させることの大切さについてお話しいただきました。

敦賀市受賞者

●善行青少年および青少年育成功労者知事表彰

青少年健全育成功労者　池田 裕太郎
青少年健全育成功労者　小川 三恵

●優良青少年補導員および優良少年警察協助員知事感謝状

優良青少年補導員　北野 一志
優良青少年補導員　山本 宗治
優良少年警察協助員　桒名 伸次

中止となりました

令和元年度 第41回
青少年育成敦賀市民大会

10月12日（土）プラザ萬象大ホールで開催を予定していました「青少年育成敦賀市民大会」は、『台風19号』の接近に伴い、参加者の安全面を考慮し、中止とさせていただきました。参加を予定されていた皆様をはじめ準備等でご尽力いただいた方々には大変申し訳ありませんでした。来年度のご参加をよろしくお願いいたします。

きらきらcoramu Vol.34

(特非)きらきらくらぶ 理事長 **林 恵子**

多様な価値観を子どもたちに

急速な人口減少により、子どもたちが出会う大人の数が減ってきています。女性が生涯に産む子どもの数が減っているということは、兄弟の数が減り、それは、叔父さん伯母さんになる人の数が減ることになり、親せきと呼ばれる人たちの数も減ってきているということになります。昭和の頃は、親せきが集まるといろんな大人がいました。町内の集まりでも同じです。「とっつきにくい人」「良くしゃべる人」「厳しい人」「甘えさせてくれる人」「いっぱいお酒を飲む人」「飲んで歌う人、笑う人、怒り出す人」。いろんな大人の価値観の中で育ってきました。「そんなことしたらダメ」と言われつつも他の人に、「気にせんでええ」と言われたり。子どもながらにいろんな人がいて、いろんな価値観があっていいのだと思ってきました。

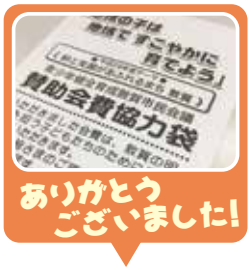
ところが今はどうでしょう。モデルとなる人が、とても少なくなってきているのを感じます。そこで、子ども達は、意図的にたくさんの大人に接する必要があるのです。そこに行けばいろんな大人に出会えて、自分の両親の知らないことを教えてもらえたり、両親が近くにいないママたちが、地域のばあばと一緒に離乳食を作れたり。たまには、晩酌をする地域のじいじたちと夕食を食べたり。その夕食材料は、みんなが畑で作った野菜であったり。そういう地域の人が気楽に集まれる場所が必要だと思います。そして、そんな場所に集うことが大切だと思いますが？皆さんはどう思われますか？

◆賛助会費のご報告◆

青少年健全育成敦賀市民会議の趣旨にご賛同いただき、誠にありがとうございました。

今年度もこのように多くの賛助会費を賜り厚くお礼申し上げます。

これからも青少年育成活動に一層努力して参りますので、ご支援よろしくお願いいたします。



令和元年度の賛助金の募集結果は下記の通りです。

☆賛助会員数 …… 11,771名
☆賛助会費 …… 2,227,895円
〈 10月30日現在 〉

『青少年つるが』第46号
令和元年11月26日
編集・発行　青少年健全育成敦賀市民会議
広報部
事務局　少年愛護センター内
〒914-0047 敦賀市東洋町1の1
TEL 23-0528
FAX 23-0529
メールアドレス aigo@ton21.ne.jp

青少年健全育成
敦賀市民会議のシンボルマーク

大人が変われば子どもも変わる運動

家庭の日 毎月第3日曜日

皆様のご意見を募集しております